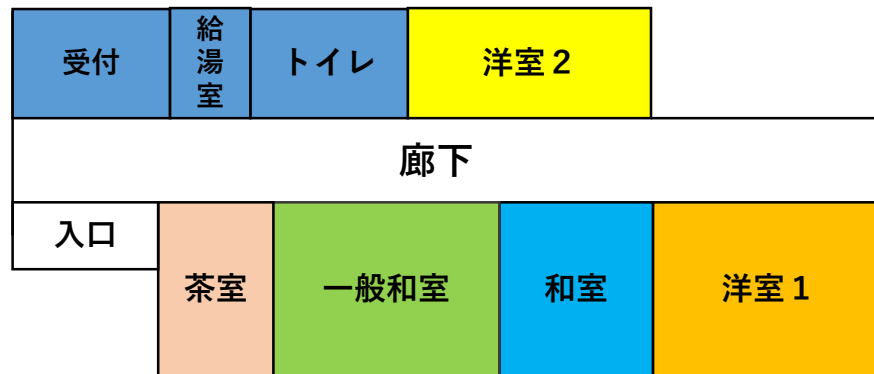


ゆうゆう館の施設概要

- ・ゆうゆう館は、高齢者の「憩い」「健康づくり」「生きがい学び」「ふれあい交流」の場としての役割・機能を持ち、運動や趣味の活動を行うことのできる**高齢者専用施設**です。現在区内に28箇所設置されています。
- ・60歳以上の区民の方であれば、和室や談話コーナーでテレビやマッサージ機、囲碁、将棋などを自由に楽しめるほか、団体で運動や趣味の活動を行うことができます。
また、利用者同士の交流、異世代間交流のため、敬老月間イベント（まつり）や地域交流会を毎年実施しています。このほか定期的に講座・サロン等を実施しています。
- ・ゆうゆう館の半数以上は築40年以上経過している一方で、保育園と併設のゆうゆう館が多い為、同規模での建て替えは困難であり、老朽化への対応が課題となっています。



(参考) ゆうゆう上高井戸館館内図

杉並区区立施設再編整備計画について

杉並区区立再編整備計画とは、区政の現状を踏まえ、限りある財源の中で時代とともに変化する区民ニーズに的確に応えるとともに、将来にわたって持続可能な行財政運営を行っていくため策定したものです。

【施設再編の必要性】

- ①区立施設全体の約3割が築50年以上 (区立施設の老朽化)
- ②少子高齢・人口減少社会の到来 (限られた財源)
- ③新たな行政課題への対応 (区民ニーズの変化)



区立施設の
再編整備が必要

とりわけ高齢者専用施設であるゆうゆう館は、施設の有効活用や世代を超えた地域住民同士のつながりを促進する観点から、**新たな地域コミュニティ施設である「コミュニティふらっと」へと再編整備する取組を進めています。**

ゆうゆう館の再編の考え方

- ・ゆうゆう館は高齢者専用施設としての特性から、夜間の稼働率が低いなど、施設の有効活用の視点でさらなる工夫が求められます。また、半数以上が築40年以上経過し、**老朽化への対応**も課題です。
- ・今後の高齢化の更なる進展を見据え、**多様なライフスタイルを持つ高齢者が気軽に立ち寄れ、身近な地域で活動できる場所の確保**に加え、地域共生社会の実現に向け、**世代を超えて地域の人同士が交流し、つながりを作るための場の確保**は重要な課題です。
- ・以上のことから、ゆうゆう館については、**高齢者専用施設ではなく、多世代が利用できる施設（コミュニティふらっと：下記参照）へと転用・再編**を進めています。コミュニティふらっとについては、歩いていくことができる範囲に1か所（区全体で30～40か所）を目安に整備を進めていきます。また、高齢者団体の活動場所の確保など、**ゆうゆう館の機能を継承**していきます。

コミュニティふらっとの運用について

- ・「**コミュニティふらっと**」は、**誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設**です。※令和5年6月現在、5か所を開設。
- ・ゆうゆう館を利用している団体の活動が継続できるよう、一部の部屋・時間帯に「高齢者団体優先枠」を設け、一般利用者に先駆けて優先的に申し込みを受け付けます。また、「高齢者団体優先枠」（1団体当たり月8枠まで）については使用料を免除します。
- ・コミュニティふらっとを身近な地域におけるコミュニティ形成の拠点とするため、年2回の多世代交流イベント（まつり）のほか、定期的に講座・サロン等を実施します。

【コミュニティふらっとのイメージ】

